# 夢・モモ・ゆう・機関車後援会だより

NO. 21　2010 年 1 月

# 新モモの家が完成！

新しい「デーセンターモモの家」（大阪市福島区吉野 4-27-10）が完成。8 月 1 日から活動がスタートしました。**後援会からは 585 万円の寄付**をいただきました。ありがとうございました。皆さんのお力で整った素晴らしい環境。皆さんのご期待に応えられるよう、利用者さん、スタッフ、力を合わせて活動を展開していきます。

施設前面に設けたリサイクルショップ内には、長年応援いただいている後援会員の方々の名板を設置しました＝**右上写真**。お近くにお寄りの際は、ショッピングも兼ねてぜひ足をお運びください。

☆協賛企業一覧☆～代金の２～3%が後援会に寄付されます。ぜひご利用ください！

大手ツアー含む旅行全般は「チューオーツーリスト」0721－56－2170→担当：石丸さん
住宅新築・改修は「吉岡建設」　0726－21－0021→担当：山本さん
リフト等の車両改造は「ウェルビー」　072－228－2501→担当：田中さん

新モモの家の改修費用は3620万円。下の円グラフのように、後援会をはじめ、父母の会、日本財団を通じ、多くの方々から支援をいただきました。施設は、木材倉庫を賃貸、改修したため、天井が高く、広々とした感じです＝左写真。奥のお風呂室の壁紙には、誕生日カードでおなじみのデザインを採用しました＝右写真。リサイクルショップ屋上には緑を配置し、大きくとった窓のおかげで室内からも色とりどりの植物が楽しめる工夫がされています。

7月17日にはオープンに先立ち披露パーティーを開催。多くの方々が参加くださいました。

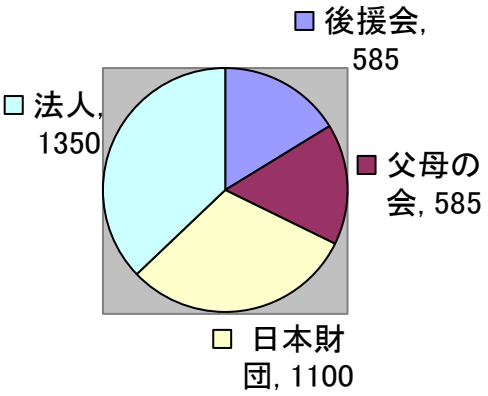
【披露パーティー参加の方々】

石丸昌義（チューオーツーリスト）
犬伏一人（読売新聞記者）
遠藤哲也（毎日新聞記者）
大藪真紀子（ピアニスト）
小野沢明（ビーフリー）
神崎真理子（なかよし文庫）
加賀一朗（光陽特別支援学校）
柿久保浩次（パーティパーティ）
酒井佐和子（医療生協理事）
ジェイ公山（ゴスペル歌手）
菅まどか（日本ワーキングホリデー協会）
高松邦明（公認会計士）
田中一男（ダイヤ交通）
田中圭一郎（ウェルビー）
玉木達也（毎日新聞記者）
辻本易弘（新家連合町会会長）
永田徹（弁護士）
丹羽幸子（社会保険労務士）
羽柴修（弁護士）
広本三枝子（父母の会会長）
藤木充（しが夢翔会常務理事）
堀田純子（日本ワーキングホリデー協会）
三島優子（父母の会副会長）
村田好範‘（歯科医師）
村田文子（歯科医師）
山口敦子（父母の会副会長）
吉村晋治（西淀川特別支援学校）

## 「緑の寄付」「ショップ会員」を募集中！

**ショップ屋上の植物を維持するための「緑の寄付」（１口１万円）や「リサイクルショップ会員」（2000円）を募集中です。モモにお立ちよりの際には、ぜひご協力くださいませ！！**

【新モモの家　改修費収入内訳】　単位：万円



# 日本における福祉研修の感想

Ola a todos. こんにちは　皆さん、私は地球の反対側に位置している国、サッカーで有名国に住んでいるブラジル人です。川頭（せんどう）　幸枝（さちえ）エリアーネと申します。今年の７月の下旬から８月の上旬まで、特定非営利活動法人Ｗ・Ｉ・Ｎ・Ｇ一路をはこぶ（あらあら夢飛行でしたね！！！）で３週間の研修をさせていただきました。本当にちょ短い期間でしたので、あっと言う間に研修が終えました。飛行機で 24 時間かけて（機内では退屈して大変！！！）無事ブラジルに帰国しました。現在ブラジルにある日系高齢者の老人ホームに作業療法として勤めています。夢飛行の皆さんのSAUDADE（また会いたいなぁーていう気持ち）してます。

研修についての主な目的としては障害者や高齢者に関する地域生活支援体制度についての勉強でした。私は日系人なので日本語はだいたいできるので、教えてくれた研修先の担当者がとても分かりやすい日本語を使って、日本福祉制度、福祉の現状や当法人の成り立ちしくみについて座学があり、そして日本の高齢者の介護保険制度と障害者の支援費制度で提供されているサービスを見るために色々な施設に見学させてもらいました。研修先の利用者の介護をするのを実際に見ると、ブラジル人と日本人の考え方の違いが分かりました。日本のスタッフの皆さんは相手に協力的に動きや考え方で介護をしていることがブラジル人に違います。ブラジルでは同じ考え方を理解しても協力して動きましょうて言う気持ちができるのは難しいです。

また、障害者や高齢者（認知症）のグループホームはブラジル一般的ではないのでどういうものですが、研修で実際に見学したグループホームでユニットケア行われていて家庭的な雰囲気があり、利用者の心が和んでいるように感じられた。その考え方が現在からブラジルも考えるべきです。

最後には、ブラジルでは障害者や高齢者に関する地域生活支援のためには大規模な老人ホーム施設ではなく、市町村で色々なユニット型ケアが出来ることが大切ですと参考になりました。浅い感想になりましたが、研修の勉強はブラジルの考え方に合わせて色々なことをゆっくり役に立てたいと思っています。日本で大阪の皆さんで会えて良かったです。大阪弁も楽しみました。利用者さんやスタッフの皆さんからたくさんな思い出がつくられて、嬉しいです。本当にありがとうございます。　（原文ママ）

ＪＩＣＡ（国際協力機構）の日系研修員事業を通じて来日。約３週間、夢飛行などで研修、日本の福祉を学ばれました。

# 21 世紀への航跡

**～夢・モモ・ゆう・機関車の歩み⑫　菅野眞弓**

夢飛行、モモの家、機関車のような施設を「生活介護施設」といいます。これは障害者自立支援法に基づくサービス事業で、この 3 施設は 2008 年 1 月に小規模通所授産施設から移行しました。現在 3 施設の利用者数は 70 数名で（もっとも全員が毎日通所しているわけではありませんが…）17 年という時間の経過はありましたが、1992 年の夢飛行（小規模作業所でした）を思うと隔世の感があります。

ではこの「生活介護施設」正しくは「指定生活介護」といいますが、どのようなものか？というと利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう「入浴・排泄及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものでなければならない」と謳われています。そしてその「生活介護施設」であると認められるには様々な基準を満たさなければなりません。

まず、人員に関する基準　嘱託医　看護師の配置も義務付けられました。直接サービス提供を行う介護スタッフも、利用者数との関係において単価が決められています。その他、設備に関する基準　運営に関する基準などがあります。

特に運営に関する基準は細かい方針がたくさん示されています。例えば事業者（私たち）は利用者の障害特性に応じた介護計画を作成し、その支援を適切にしかも漫然かつ画一的にならないよう配慮しなければなりません。70 数名の利用者さんに漫然かつ画一的にならないような介護サービスの提供、これは至難です。しかも定期的に質の評価を行い、常に改善を図らなければなりません。言い訳に聞こえるかもしれませんが、スタッフにきついことって利用者さんにとってもきついことがあります。漫然かつ画一的にならないように常に心がけています。また改善の必要な時はすぐに改善しようとも心がけているのです。しかし、常に心がけてはいても、常にそれを意識できるものではありません。

基本的な生活、生活パターンは障害があるとかないとかはあまり関係なく同じようなものです。違いがあるならそこに「介護」が存在するか否かです。常に誰かが傍にいる。仕方のないことだとは解っていてもひとりになれないストレス。そして傍にいる人間（私たち）の意識が、計画に沿った支援か？など支援内容ばかりを意識していたら…。障害ゆえに「生活」が常に「訓練」「療育」

に置き換えられ生きてきた幼い日々。きっと私たちの利用者さんは「支援」ではなく、今ここにいる「私」をみて。と悲鳴をあげるにちがいない。そんな気がします。もちろん利用者さんは声や言葉では言わないのですが…。支援計画を文書にはできます。支援計画があり、それを履行すればいいだけなら簡単かもしれません。しかし私たちの利用者さんー重症心身障害者といわれる人たちは、計画の外に、文書の行間に真の「支援」があるのかもしれません。今更ながら「生活支援」の難しさを実感しています。（つづく）

## 韓国・外交通商部

隣国・韓国から９月１８日、お客様をお迎えしました。外交通商部（日本の外務省）のオ氏ら一行＝写真、で、デーセンター夢飛行を視察。私たちと活動しているワーキングホリデーの韓国人青年４人にインタビューを行いました。

外交通商部では、ワーキングホリデーを新たに担当する機関設立を検討中で、まずは現地日本の現状を把握しようと来日されました。介護保険がスタートした韓国でも「福祉」は今後注目される分野。韓国青年らが私たちの活動を通じて、重症心身障害者をはじめとする障害者の地域生活に触れ、“貴重な経験となれ！”と念じています。

## 2008年度決算～ありがとうございました～

≪収入≫　　≪支出≫　08年４月１日～09年３月31日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会費 | 1661699 | 新モモの家　移転･改修費 | 5850000 |
| 寄付 | 10764787 | 事務費（印刷費など） | 122625 |
| 預金利子 | 12504 | | |
| 前期繰越 | 10902255 | 合計 | 5972625 |
| 合計 | 23341245 | **収支差額** | **17368620** |

08年度はお知らせの通り､「モモの家」（福島区）の移転・改修にご支援いただきました。後援会の皆さま、本当にありがとうございました。今後は「グループホーム・ケアホーム」の設置に向けた活動を行います。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

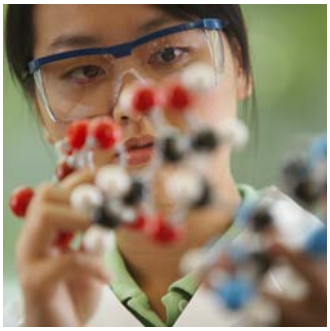
# 「アメリカでの研究生活」

後援会員・田中幹衛

初めまして。私はアメリカに滞在８年目、現在はオクラホマ大学付属の Reynolds Oklahoma Center on Aging という研究施設で Research Assistant Professor として勤務しています。

研究テーマは老化や老人性疾患発病の分子細胞学的解明といったところです。外国での研究はさぞかし大変だろうと皆さんお思いかもしれませんが、案外実験自体は日本もどこも同じようなものだし、習ってきた専門用語はたいてい横文字なのでそれほど違和感はありませんでした。そのおかげなのか日常英会話がまともにできない自分が未だにアメリカで働いていられるのかもしれません（もちろんできたほうがいいに決まってますよ）。

私が所属する研究室を含めて、この国では外国からの研究者が多く、特に中国、韓国、インドなどアジア系研究者が本当に多いです。彼らの多くは何らかの理由で期限付きビザに片道切符一枚握りしめ家族共々引き連れてやってきた人たちです。彼らにこの国に渡ってこられた自由はあっても職場の選り好みの自由は非常に限られています。低賃金だろうが、人使いの荒いボスだろうが、ここで生きるには文句は言えません。そんな彼らの社会地位的背景は（アングロサクソン系）アメリカ人のそれとはかなり異なっているのは間違いありません。



考えてみれば、今この国は戦争中なのですね。最初にアメリカ軍がイラクに侵攻した日、私はカフェテリアで同僚と食事していましたが、普段と全く変わらない雰囲気に逆に大変印象深かった思い出があります（まあ本土が戦闘地でないからでしょうけど）。中近東紛争もさることながら、今人々の最大の関心事は経済不況でして、これは研究者とて同じことであります。というのはここ数年、研究予算は異常なまでに緊縮財政が続いているのです。今まで研究費を NIH（日本の文部科学省みたいなところ）からもらっていたのがもらえなくなって研究稼業を続けられなくなった研究者がちまたにあふれ、一方で大学のあちこちにもはや誰も使わなくなった（使いたくても運用資金がない）研究棟が出現しているという現実。多かれ少なかれ日本の研究環境も似たようなものであると聞きます。いつまで続くのでしょうか、明日は我が身か。いやはや大変な時代に研究者になったものです。

私は学位を取得後、合計４回職場を変えました。そのうち２回はアメリカに来てからです。そのうち最後の職探し、つまり今の職を得るのに本当に大変な時期がありました。NIH での当時のポジションがあと３ヶ月で打ち切りだと告げられてから、なんとかもう少しとお願いしつつ論文を出しつつ最後の数週間というところで半年延長、また一年延長、その

期限１週間前にこれが本当に最後だとの３ヶ月延長と、首の皮一枚残しながら仕事を続けつつ、次の職を探して少しでも自分の研究に関連しているような公募なら、手紙（自己アピールみたいなもの）と C.V.（履歴書みたいなもの）と上司からの推薦状を揃えて何十通

と応募しました。また、現在ではいくつかの研究者向けの企業ジョブウェブサイトがありまして、自分の C.V. をインターネットを通して応募しました。結果はなんの音沙汰もなく無視されるか、薄っぺらの封筒に残念賞の手紙だけ。ただの一度も面接選考すら進めない日々でありました。毎日一度は自己嫌悪に陥り、なんで僕は研究者の道を選んだか、それは間違いだったか、もうこれで終わりかと思ったものです。でもこれで研究人生最後か、と言ったって私が売り込めるのはこれしかありません。悶々としつつやるだけのことはやるしかないと思ったものです。

そんな私がどのようにして今の職を得たのか（奇跡ですな、これは）。それには他人の力というか人的ネットワークがありました。ある日、私の上司（その時点で既に故人）の下で働いていた Luke が、たまたま研究室に訪問した時に私は Luke に初めて会い、それがきっかけで私は彼の研究室で研究紹介をする機会を与えてもらいました。その後 Luke は友人である今の私の上司 Bill に私のことを話し、Bill もまた私の研究に興味をもち私を呼んで研究発表させ、そこで彼は「これは面白い、よし雇ってやろう」という運びとなったのです。３ヶ月延長期限終了の２日後に新赴任地へ赴くこととなりました。以上の一連のいきさつは単なる偶然というより Luke や Bill を含め私の窮状と熱意（と研究の将来性）を理解してくれた何人かの人たち（私の身近にいた人達だけでなく、求職の際に知り合った研究者達）の援助と助言が導いてくれたと言えます。私の力の及ばないところで人と人とのつながりが最後に自分を救ってくれた、そんな感じがしています。

最近の時流とは反していますが、私は研究（実験）は基本的にひとりでやるものだと今でも思っています。が、世の中自分一人の力で生きていくのは大変です。少なくとも私のような頭も社会地位も弱い人間は人からのサポートがどうしても必要になるのではないでしょうか。人の助けといえば、まず、やはりうちの嫁さんや家族には本当に感謝しています。と、これを言うと何だかめでたしめでたし気分になってしまいますが、まだまだ先は長い。一寸先は闇、どうなりますやら…。

1996 年大阪大学理学博士、1996 年～理化学研究所、2001 年～アメリカ国立衛生学研究所、2008 年～オクラホマ大学ヘルスサイエンスセンター老年学部。老化に関する分子学的解明は、世界中の研究者がしのぎを削る研究テーマです。学生時代には知的障害児施設などでのボランティア活動に参加。長年後援会を応援いただいています。

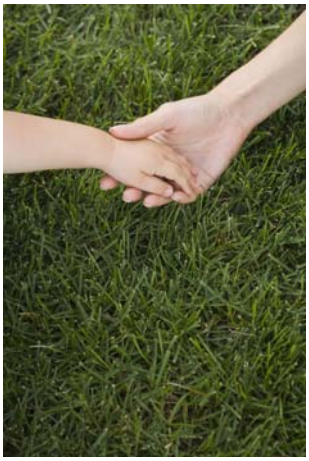
「ありがとうね。」

林やよい

　脳性まひで、知的にも身体的にも重度のしょうがいのある娘と暮らしてきて十七年経った。人には「お母さん、よくがんばって育てて来られたわね」と言われるが、どう考えても「しょうがいじの母向き」でない私を、引っ張ってきてくれたのは、娘のほうである。

　たとえば私は、たいへんひがみっぽい。子どものころから、何か物事につまづくたびに「どうせ、私なんか」とすねていた。体育でも、勉強でも、友だち付き合いにおいても、「できる人」と自分を比べては、いちいち落ち込んだ。だから、「標準」からかけ離れている娘を授かったときは、きっともう立ち直れないと思った。ところが…。予想をはるかに超えて発達がゆっくりな娘と暮らし、よその子と比べては落ち込む日々を積み重ねてほとほと疲れ果て、比べるのをやめた途端に、ストン、と楽になった。実は「こうでなくっちゃだめ」という物差しを作っていたのは自分で、比べることで私を苦しくしていたのは私自身だったということに、気付いたのだ。

　また私は人に気持ちを伝える事が、ひどく苦手だった。「誤解されるぐらいなら黙っていたほうがいい」と思っていた。でも、娘と暮らしていると、全然知らない人に車いすの介助を頼んだり、スロープや身障者用のトイレがどこにあるか尋ねたりしなければならない。さらに進路選択の節目節目には、しょうがい児というものについて全くわからない人たちを相手に、あの手この手で気持ちを伝えなければ門戸が開かない。はじめは仕方なく、だった。でも、話しかけてみると、世間の人たちは案外温かく、聞く耳を持ってくれていることがわかった。だんだん、行動を起こすのが苦にならなくなり、このごろは、人に働きかけて、どんな反応が返ってくるかを待つことが、楽しみにさえなってきた。



　それから、私は、物の見方がひどく悲観的であった。何かうまくできたことがあっても「所詮、これだけしかできない」とへこむ。ところが、できないことだらけの娘と付き合っているうちに、ほんの少しの「いいこと」も、目ざとく見つけて喜べるようになった。いつもは表情の乏しい娘が、ちょっと笑った、とか、支え無しで座っていられたとか、ささいな「いいこと」をとても愛お

しく思えるようになった。すると、毎日の暮らしが「いいこと」だらけに変身した。「いいこと」は、娘の成長だけにとどまらない。きょうも空が青い、とか、とりあえず元気で起きて動ける、とか、爆弾が飛んでこないところに住んでいられる、とか。暮らしている周りのことが、いちいち大切に思える。「当たり前」のことが実はちっとも当たり前ではなく、「在り難い」ことだったことに気付いた。

特別な変化があったわけではない。娘は十七歳の今も発達診断では生後八ケ月程度の発達レベルだと言われている。オムツも取れないし、食事も全介助が必要だし、車いすがないと移動はできない。言葉も出てくる気配がない。だけど、朝、まだすやすや眠っている娘の気持ちよさそうな顔を見ているだけで、心の底から幸せがふつふつと湧き上がってくる。

娘との暮らしは、なんと言ったらいいか、とても、哲学的である。ほとんど黙っていても、でも、ひたむきに生きている確実な存在であるからこそ、娘は命の重さを、ダイレクトに伝えてくれるのかな。そして私にいろいろなことを考えさせてくれるのかな。

兵庫県伊丹市在住。♪ワハハと笑いながら障害児の母の輪を広げよう♪という通信「わ・はは」第20号から転載を許可いただきました。

## ありがとうございます！

助成団体より多くの支援をいただきました。いずれも新しいモモの家への応援です。大切に使わせていただきます。

◇大阪西ライオンズクラブ様より
リフト付送迎車（トヨタ・ハイエース）に100万円いただきました。

◇財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より
介護用ベッドに50万円をいただきました。

◇財団法人みずほ福祉助成財団様
医療機器（パルスオキシメーター）に49万円をいただきました。

# 活動あれこれ　写真展

私たちの活動はさまざま。日々の様子の一端をご紹介します。

車イスダンスの練習です！

木管五重奏のコンサート♪

大阪ドームへ野球観戦

神戸大から平和教育の出張教室

Tamariba 留学　外国人スタッフの活躍

プールにも入ります！

花火をやりました…熱そう？

美容師さんらの美容室ボランティア

ご継続ありがとうございました！　会員継続の皆さん。敬称略

08 年度仲地弘 武内計二 小泉秀子 中川直子 中西孝子 井浪淳夫 吉村英子 岩戸美津江 大原満 岩田昌代 清水洋子 工藤ひとみ 酒井佐和子 田辺美加 村野知子 南大阪交通㈱ 北川昭子 ＨＲＭオフィス㈳丹羽幸子 嶋恭加 匿名３名 溝渕啓子 天野真紀子 友田洋子 斎藤雅子 光野浜子 下市和生 齊藤治 小澤文恵 前垣光義 前垣朱実 萱野加津夫 有尾雪江 阪本友輝 加藤ヨーセツ㈱ 加藤世里子 太田隼弘 山本裕信 吉岡建設㈱ 八谷秀孝 菅洋子 山之内春子 尾谷文子 岡本潤和 岸本裕子 高外富榮　岡田満喜子 麻生美津子 橋田国身 山口宗一 赤阪幸江 大坪正敏 光安寿三郎 福井克次 吉田肇 笹田智佳子 五味侑子 今宿幸男 前垣信也 藤田洋士 浅井初美 神童美代子 朴時夫 清水洋子 夏川町子 秋田雅伸　米丘幸穂 木村時計眼鏡店 橋田奈穂 澤村智恵子 羽白育子 荒木眞一 橋田友美 高橋恵子 太田貴久 斉藤真弓 山崎康子　加藤孝子 西田淳 金澤眞理子 八谷秀孝

09 年度有尾克ひこ 有尾かほる 薮内朝吉 薮内資子 飯野裕子 末次貞子 山地はるみ 玉里光一 ㈲真鍋工作所 西村英八郎 泉谷美千子 鈴木アリサ 安藤まゆみ 山川瑠美 尾谷富美子 今中正己 三和宏行 岡田啓子 石田豪 大井知子 堅田順一 井浪克己 谷村圭造 谷村直子 福田六夫 福田正人 福田純二 常松清吉 田邊佐千子 山﨑圭三 山﨑陽子 山﨑正則 北徳太郎 藤永淳二 藤永芳子 鈴木信哉 古田幸代 ｵｵｻ整骨院 堀政治 谷川泰治 榊原万友文 中恵美子 岡田和子 万代義彦 片山トキエ 小林久子 三宝院川瀬良禅 小西頼子 山地雄平 畑まみ 山本敏行 西野茂 野田比奈 石田公徳 石田淑子 南部謙二 南部信子 南部由加里 谷川予枝子 大槻英夫 堀本京子 大宮景子 殖栗美和子 朝倉裕子 高野繁 葛川久美子 葛川香澄 出野美佐子 伊藤隆博 遠田容子 中島裕文 田中光代 宮部智勢子 宮部秀和 柏原トモエ 山中和男 奥野温子 池田峻 鈴木友治 永和信用金庫天下茶屋支店 河合裕美 森眞理子 奥野温子 山中和男 山脇三知子 佐々木義彦 石川典子 筒井恵美子 小林裕子 松井眞 田端悦子 仲宗根静子 濱﨑幹雄 濱﨑道子 前垣孝春　（有）ニフコ 山中富美男 東田幸雄 浅井美和 冨田俊哉 永野明秀 平井毅 伊藤紘 伊藤佳代 伊藤詩織 梅本哲男 福島和子 中村光志 橋田龍志 木村朋毅 匿名１名 西川美幸 浅井義行 真鍋工作所 真鍋秀和 真鍋陽司 溝口尚美 井浪洋夫 薮内資子 真田政稔 宋連玉 開村信雄 大槻文恵 小西孝子 竹中上子 有尾祐彦 山田正雄 森公子 荒木節子 岸桂子 中東妙子 村山龍一郎 村山繁樹 藤田和彦 広本三枝子 田中トシ江 匿名１名 村山真知子 木村隆克 有尾則彦 平井義丸 山口留美子 安田由美子 南里秦博 田代健二 梁英子 山之内増男 森下浩次 森下美津子 沖村諭孝 吉見基子 原田進 田中幹衛 前川裕子 高畑弘之 勝山裕子 西川明子 竹本博文 細野精 岩本和美 前堂則子 堀田治美 大川美代子 福井一弘 山口敦子 遠田至 遠田順子 長沼奈緒子 有岡有子 伊藤康夫 田辺隆子 八木秀雄 八木敏子 平田雅美 平田美子 平田清子 瀧山恭子 河野良子 丸山有子 西田フミ子 山成嘉代子 岡カネ子 パクジェヒョン 原田啓司 神崎修 岡崎正子 三島隆一郎 高井靖明 宮本謹 大浦登喜子 松平華代 阪下由記子 宮本恭子 井木真知 西山廣司 橋田有造 青木康 森江行雄 高橋満穂 松井延子 牧迫民子 佐藤美也子 森葉子 武居友子 酒井伸子 中橋弘晃 黒瀬紀久子 鶴田久美 小野幸子 秋田正信 仲谷アヤ子 （有）ウェルビー 山内鉄夫 矢野光子 松井チエミ 玉置敦子 林均 林和子 林隆文 神童俊雄 太田晴美 迫田吉生 谷彦範 田中貞子 神田美穂 神崎真理子 古野宗代子 田端淳恵 高外茂 高野繁 原田浩 魚井昭彦 冨田恵美子 吉本弘 荒川輝男 金本京子 杉本マリ田代裕美子 小角隆 佐藤裕英 佐藤温子 谷川一義 谷川ふみ 小林比紗子 北川仁美 山田公夫 高野郁子　亀井浩司 喜多庸雄 利川慶子 利川竜男 勝山欣哉 島森きみ子 重長聡 小泉秀子 貫野旬子 玉城初子 楠本恵亮 進藤多代 太田徳子 佐藤由希 武内久仁子 高津由之 橋田恵美子 武内計二 瀬戸恵利子 奥津矩男 増野誠 田辺美加 福井博子 岩戸美津江 伊森雅彦 吉村英子 酒井佐和子 片岡義治 池田峻 奥野温子 山中和男 沖村諭孝 浅井初美 岩田昌代 前畑常男 中川直子 中野順子 仲地弘 山口勝蔵 匿名３名 井浪淳夫 奥田裕子 嶋恭加 市村芳美 齊藤治 有尾雪江 前垣光義 前垣朱実 前垣信也 （株）加藤ヨーセツ・加藤世里子 太田晴美 眞鍋光子 友田洋子 竹本歯科医院・竹本博文 光野浜子 溝渕啓子 山

中美也子 小佐田茂博 （株）クラハラ 萱野加津夫 長谷場昭子 松代伊佐子 田代健二 高橋博子

## ご支援よろしくお願いします！ 新会員の皆さん。

佐藤美也子 （株）エフ・ラボ・永井英太郎 涌井智子 伊森雅彦 山崎義信 小野季代子 韓基大 佐藤裕英 藤本浩輔 小西良和 眞鍋光子 溝口雄貴 （株）クラハラ 山本智也 阿部務 麻生美津代 村田好範 迎和明 浦野将人 川辺美代子 石田康子 迎千咲子 戸田由美 河本陽介 （有）鈴木工務店 山口滋巳 伊藤岳洋 伊藤麗子 一之瀬さよ子 匿名１名 桑原雅代 細野精 竹本博文 小川陽清 粟野雅貴 中光治 清家久美子 鍋倉すみえ 匿名１名 井本慶子 光野浜子

## ご寄付・寄贈いただきました！

匿名１名（ｲｴﾛｰｷｬﾝﾍﾟｰﾝ） 橋田国身３件 橋田恵美子２件 奥津矩男 鈴木織江 中神明奈 山中響 匿名１名 スタッフ一同 吉岡建設㈱４件 冨田俊哉 河本陽介 南里ゆかり 赤松須美子 大薮真紀子 辻本易弘 山口敦子 酒井佐知子 神崎眞理子 羽柴修 村田歯科医院 ウェルビー パーティパーティ 匿名２名 太田晴美 小川尚美 伊藤えり２件 真喜志和子 宮部秀和 宮部智勢子 大槻瑞文 匿名１名（夢ショップ） 大阪トヨペット（株）福島店 増井ジットラダー 菅野眞弓 橋田国身 羽田崇子 匿名１名 利川慶子 菅さんとその仲間たち セレモナ 宮本妙子 中川敦子

## 退会。長年ありがとうございました！

竹田真知 竹田加代子 城戸智美 松浪一夫 正野良範 佐藤貴美江 三井弘 三井孝子 今北静 田口すなま 関戸栄子 澤田加津子 関戸栄子

【後援会よびかけ人】 犬伏一人（読売新聞記者） 羽柴修（弁護士）
冨田佳志（朝日新聞記者） 小西威史（月刊「ソトコト」編集部） 堀内正美（俳優）
増田耕一（毎日新聞新規事業開発室長）松本賢志（時事通信記者）
山沖之彦（プロ野球解説者） 梁英子（ヤン・ヨンジャ 弁護士）

▼評判の韓国映画「母なる証明」をまだ見ていない。人気作家・伊坂幸太郎はまだ読んだことがない。０９年も英語は勉強せず。不義理の人が年々増える。何やってんだと思いながらまた一年が過ぎた。

▼朝起きて、朝飯を食い、仕事に行き、遅い電車に乗って帰り、深夜に夕刊を読み、風呂に入って寝る。そんな日々の繰り返し。もちろんそれぞれに時間を彩る出来事はあったが。

▼しかし、「普通」を維持することには努力も必要だと感じられる年齢になった。私の仕事は、普通を創造することなのかも知れない。普通は普通であるが故に見えにくく、その発見は貴重なのだ、創造の結果なのだと…。

発行：「夢飛行・モモの家・ゆうのゆう・機関車」後援会 郵便振替口座 00900－4－157766
E-mail info@yourwing.org 年会費 １口 3000 円（個人） 10000 円（団体）
〒557－0042 大阪市西成区岸里東１の５の 25
「特定非営利活動法人 W・I・N・G一路をはこぶ」内 TEL 06-6656-1280
法人ホームページ http://www.yourwing.org
後援会ホームページ http://www.h7.dion.ne.jp/~yumekoi（夢来い）